

◆ 台東都税事務所長賞 ◆

「国を支える税金」

台東区立桜橋中学校 3年 田中 陽太

皆さん、森林環境税という税のことを知っていますか。

ある日、ニュースを見ていると、使い道などの疑問の声とともに森林環境税という税について取り上げている記事を目にしました。その記事によると、この税は今年度から徴収が始まった税金で自治体が森林整備などの財源にあてる目的で作られたものだそうです。

僕が、中学一年生だった頃、夏休みに父親の実家の近くの山にある城跡を見るため、親戚と山を登ったことがありました。落ちている小石や枝などにつまずかぬよう、下を見ながら歩いていると、親戚が

「ここらへんの山も最近荒れてきているから気を付けてね。」

と声をかけてくれました。周りを見渡すと、確かに以前山を登ったときよりも木々たちが荒れているように感じました。そこで、何故このような状況になったのか、原因が気になり、調べてみることにしました。

すると、山が荒れる一つの要因に整備が行き届いていないということが分かりました。手入れが行われない森林は、樹木たちが混み合い、日が差し込まなくなると、その成長や根の発達が阻害され弱弱しいものになってしまうそうです。そのことを知り、僕はそのまま次々と山が荒れ、その豊かさが失われてしまえば、日本の美しい自然が壊れてしまうのではないかと思いました。

しかし、この森林環境税があればそのような事態が起こることを防ぎ、逆に自然をより良くすることができます。例えば、自宅がある台東区の隣にある荒川区は、森林環境税が交付されるまでの間、それに代わって譲与されていた森林環境譲与税を利用して、友好都市である福島市の市有林の一部に「あらかわの森」を作り、森林整備を行うツアーを開催したり、区立小中学校での国産材を使用した机、いすの購入をしたりする取り組みを行っています。このように、森林環境税があるおかげで、国民の環境問題への意識を高めることや、森林などの自然を豊かにすることなどができているのです。

僕は、この税金について知るまでは、税金は教育や医療、ごみ収集などの身近なものに利用されていること以外、他に何に使われているのかは知りませんでした。ですが、今回この税に触れ、その意義を理解したことで、税金は、この日本という国を支え、豊かにしていくためになければならない存在なのだということが分かりました。まだ僕は消費税以外の税金を払うことはできませんが、少しでもこの税金が、自分たちが住む日本を支え続けてくれていることを意識していきたいと思います。